

## 公開特許公報

昭52—155270

⑤Int. Cl<sup>2</sup>. 識別記号 ⑤日本分類 庁内整理番号 ④公開 昭和52年(1977)12月23日  
 B 32 B 5/16 47 A 35 6636—35  
 D 06 C 23/00 47 A 303 6636—35 発明の数 1  
 D 06 Q 1/00 47 D 0 7425—35 審査請求 有

(全 2 頁)

## ⑥熱反転式植毛生地

坂出市寿町三丁目2の21

⑦特 願 昭52—78682

⑦発 明 者 音峰一男

⑧出 願 昭48(1973)2月9日

高松市三条町533

特 願 昭48—16908の分割

⑧出 願 人 三英ケミカル株式会社

⑨発 明 者 佐竹勝之

高松市三条町533番地

⑨代 理 人 弁理士 木下憲男 外1名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

熱反転式植毛生地

## 2. 特許請求の範囲

剝離用母生地1に仮接着層2を設け、更に短繊維の植毛繊維3を仮接着層2に仮着させ植毛層8を形成し、該植毛層8の植毛繊維3上を仮接着層2よりも強力なる接着剤にて形成した接着層4に植毛させ、目付粉末又はペレット状のホットメルト接着剤5を接着層4に散布し固着させたことを特徴とした熱反転式植毛生地

## 3. 発明の詳細な説明

従来、布にアツブリケ加工をするものとして種々あるが何れも、美感・風合を損ずる欠点に露み、この発明は熱加圧により文字や図柄を母生地より離し転写するもので仕上りの自然さと省力化を計らんとする目的である。以下その詳細を図面に就つて説明すると、第1図の如く剝離用母生地1の上に比較的弱い仮接着層2を設け、更に仮接着層2の上に短繊維の植毛繊維3を仮着(第2図)さ

せ植毛層8を形成し、次に第3図の如く植毛繊維3上を仮接着層2よりも強力な接着剤で形成した接着層4に植毛させ、更に、粉末又はペレット状のホットメルト接着剤5を接着層4に散布し固着させたものである。

よつて、第5図に示す如く、転写布6と固着した、ホットメルト接着剤5を合せ、剝離用母生地1の面よりアイロン7で熱加圧すると、転写布6の上に、先に仮着した短繊維の植毛繊維3で形成した植毛層8が転写されるものである。

この発明は転写に際して仮着された短繊維の植毛繊維3の植毛層8が強力な接着層4により剝離用母生地1より剝離すると共に、熱加圧によりホットメルト接着剤5が転写布6に融着することにより転写される。

而して、需要者は、任意に熱加圧のみで短繊維の植毛繊維3で形成した植毛層8の立体的模様が刺繍の様に美しく、然も加工時間も短かく(約30秒)転写し仕上げる事が出来、又廉価で提供される。

よつて伸縮性を有するような転写布 6 への転写も容易で転写布 6 の伸縮に際しては植毛繊維 3 間の間隙が適宜調節され植毛繊維 3 の脱落が防止され長期に亘り美麗に保持されるものである。

又植毛繊維 3 で形成した植毛層 8 を設けた剝離用生地 1 の切抜きも容易であり、需要者の好みに応じた面白い模様を形成できるものである。

又構造が簡単で大量生産に適し安価に提供できるものである等幾多の産業的効果を奏するものである。

#### 4 図面の簡単な説明

第 1 図は仮接着層を設けた上面図、第 2 図は植毛層を設けた上面図、第 3 図は接着層を設けた上面図、第 4 図はホットメルト接着剤を固着した上面図、第 5 図は転写説明図、第 6 図は要部の断面図である。

尚 1 ……剝離用母生地、2 ……仮接着層、3 ……植毛繊維、4 ……接着層、5 ……ホットメルト接着剤、6 ……転写布、7 ……アイロン、8 ……植毛層。

